

♪♪仲間の笑顔とハーモニーの花が咲いた文化祭♪♪

## 最優秀賞 3-1

## 優秀賞 2-1 ・ 1-3

### 文化祭テーマ「LET'S MAKE THE SMILE BLOOM」



11月10日(水)文化祭が開催されました。2学期始めにオンライン授業期間があり、取り組みの期間が例年より短くなりました。また、感染症対策を講じながらの取り組みとなり、クラスでの練習も制限される中でもありました。しかし、各クラスが工夫を凝らし、仲間と共に努力を積み重ねた合唱はそれぞれに素晴らしい歌声となって響きました。最優秀賞に輝いた3年1組は、西陵中学校の代表として、三泗音楽会のステージで歌声を披露することになりました。結果として最優秀賞・優秀賞は決まりましたが、大切なのはそこに至る過程(自分たちがどんな思いで、何ができたのか)だと思います。当日上手いかなかった人たちにも、受賞できなかったクラスの取り組みにも、この日までの努力に賞賛の拍手を贈りたいです。

また、芸術鑑賞会には「UNIT7」の皆さんをお迎えして、JAZZの生演奏を鑑賞しました。身近に体験することの少ない、プロの音色に触れる良い機会となりました。さらに、キャリア教育の一環として「プロの演奏家の人生」についてお聞きし、生徒一人ひとりが自分の将来について考える機会にもなりました。

<最優秀賞 3年1組>



<優秀賞 1年3組>



<優秀賞 2年1組>

<わかは>



<UNIT7のjazz演奏>



## ♡♡西陵中学校生徒会はピンクシャツ運動に賛同しています♡♡

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。

ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを聞いた先輩2人が「いじめなんて、もう、うんざりだ!」と、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き75枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。そしてその夜、学校のBBS掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけました。「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と。翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手に登校しました。学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に映った光景・・・

それはピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。

ふたりが呼びかけた人数より遥か多く、数百人もの生徒たちがピンクシャツやピンク色のものを身につけて登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、肩の荷がおりたような安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。

ピンクシャツデーは、ピンクシャツを着たり、ピンク色のものを身につけたりすることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。西陵中学校生徒会ではこの趣旨に賛同し、運動に参加しています。



<校長先生の腕にピンクのリボンを巻く生徒会役員>

## 📺メディア・リテラシーの人権学習📺

11月5日(金)2年生はヒューリアみえ(反差別・人権研究所みえ)の安田賢行さんを講師に迎え「メディア・リテラシー」を中心とした人権学習を行いました。

講師先生が『台風で四日市川があふれそうなので、このあたりは避難対象地域になったらしい』という情報を得た時、あなたはシェア・拡散しますか?と問いかけると、様々な考えが学級内で出されていました。本紙をご覧の皆様はどのように考えますか?この授業内でどのような話があったのか、ぜひ本校2年生にお尋ねください。

